

## ■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

30年度の 成果測定指標	単位	30年度の目標値	30年度の実績値
収支差額	億円	56	55.5

<b>未達成の要因と分析</b>	回収が計画を達成し、業務費も抑制した一方、求償権の自己償却額が想定以上に大きかったことなどから、収支差額は計画を約0.5億円下回ったものの、ほぼ計画通りとなった。
------------------	---

<b>今後の改善方策</b>	今後も、「適正保証の推進」「経営支援、再生支援等の推進」「求償権管理の強化・効率化」に努めることにより、安定的な収支を確保し、経営基盤の強化を図る。
----------------	--